

豊栄広報

11月号

発行所
新潟県北蒲原郡
豊栄町役場

印刷所
下越出版社
新潟市本町2電2234

す。また、福島から工業港への放水路建設については、いま福島へ流れ込んでいる万十郎川を逆流させ、さらに川中も拡張しなければならぬので多額の経費を必要とします。

新発田川

新潟東工業港へ放水路をつくらぬという計画がすめられて

水害恒久対策

放水路建設などを検討中

加治川破壊か所の復旧は、来年二月末完工の見込みで工事がすめられています。しかし、加治川の被災がなくてもこの地方一帯の水害の憂いはなくなりません。そこで現在検討がすめられている恒久的な治水対策の内容をお知らせします。

新井郷川

昨年の水害のとき建設された阿賀野川堤防胡桃山地区の水門から新井郷川へ通ずる水路は、四十四年度には兄弟堀附近で新井郷川と接続する計画です。町では、一刻も早い完成を建設省へ働きかけています。

福島潟

この治水対策として二通りの考えがあり、現在いずれに

すべきか建設・農林の各省で検討がすめられています。

この一つは、福島潟から直接日本海へ通ずる水路を建設することです。これは万十郎川を延長して新潟東工業港へ通じさせようというもので、いままで新井郷川だけにたよっていた排水路がもう一本できることになるわけです。

もう一つは、福島潟へ流れ込む水量を減らそうという考



「稲を焼く」収穫のない稲も来年のために取り除かなければならぬ。高くすんだ秋の空に白煙がむなしくたちのぼる。—前新田で—

え方です。福島潟へ流れ込んでいる川のなかで最大の流量をもつのは山倉川です。この山倉川の流れの大部分を大荒川とともに安野川へ合流させこれを阿賀野川へ自然排水しようという計画です。この二つの案については、それぞれ次のような問題点があります。

福島潟干拓計画ができた当初いわゆる安野川の三川合流案については水原町、京ヶ瀬村で大反対がおこりました。阿賀野川へ自然排水することになると、もし阿賀野川が増水して安野川がはききれなくなつたとき、この地方が水害に見舞われるという理由で



来町した農林大臣に治水対策・農業関係資金枠の拡大を陳情する三林町長

8.28水害

災害融資申し込み殺到 農、商工業で十二億円

町の農家や商工業者は、二年連続の大災害に打ちひしがれ、その経営資金や生活資金に当てるため、自作農維持資金や公庫資金などの借り入れ申し込みが押しよせています。

▽農業関係資金 自作農維持資金と天災資金の借り入れ申し込みは、いずれもしめ切られ、いま審査の段階に入っています。

自作農維持資金の申し込みは、千五百九十六件、六億四千三百八十五万円。天災資金は、千六百件、四億四千万円にも達しています。いずれも審査の段階で、かなりの額がふり落されるようですが、自作農維持資金は一部年内に、天災資金は、十一月中には農家に手渡される予定です。

▽商工業関係資金 産業育

このたび申し込み込んだ人たちの大部分は、昨年の水害でも融資を受けた人たちで、その深刻さがうかがえます。